

# ○三重大学医学部規程

(平成16年4月1日規程第242号)

改正	平成17年2月1日規程	平成18年3月13日規程
	平成20年3月31日規程	平成21年3月30日規程
	平成21年7月8日規程	平成22年3月19日規程
	平成23年1月19日規程	平成23年3月9日規程
	平成24年3月14日規程	平成25年3月29日規程
	平成25年7月30日規程	平成25年12月24日規程
	平成26年3月27日規程	平成26年12月10日規程
	平成27年4月1日規程	平成28年3月9日規程
	平成28年9月27日規程	平成28年12月14日規程
	平成29年9月20日規程	

(趣旨)

第1条 三重大学医学部(以下「学部」という。)に関する事項は、法令及び国立大学法人三重大学学則(以下「学則」という。)に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(学部の目的)

第1条の2 学部は、確固たる使命感と倫理観を持つ医療人を育成し、豊かな創造力と研究能力を養い、人類の健康と福祉の向上に努め、地域及び国際社会に貢献することを目的とする。

(学科の目的)

第1条の3 医学科は、生命科学・医科学の領域における高度で先進的な教育・研究を行うことにより、確固たる使命感と倫理観をもち、豊かな創造力と研究能力を有する医師を育成し、人類の健康と福祉の向上に努め、地域及び国際社会に貢献することを目的とする。

2 看護学科は、生命倫理観・職業倫理観に基づいて人の一生に関わり、個人から集団に至るあらゆる対象に対して適切な看護を実践し、専門職者としての社会的役割を果たすことのできる人材及び生涯にわたって人間的・専門的資質を高め、将来の専門看護師、研究者及び教育者につながる基礎的能力を備えた人材を育成し、人類の健康と福祉の向上に努め、地域及び国際社会に貢献することを目的とする。

(授業科目等)

第2条 学部の授業科目は、教養教育科目及び専門教育科目とし、授業科目、単位数及び履修方法等は、別表第1及び別表第2に定めるところによる。

(試験及び成績評定)

第3条 前条に定める授業科目の試験及び成績評定は、別に定めるところによる。

(課程の修了)

第4条 医学科にあつては6年以上、看護学科にあつては4年以上在学し、第2条に定める授業科目を履修し、その授業科目を修めた者について、教授会の議を経て所定の課程を修了したことを認定する。

(3年次編入学)

第5条 学則第46条第3項に該当する者につき、3年次編入学試験を行い、教授会の議を経て入学を許可する。

2 3年次編入学に関する規程は別に定める。

(再入学、転入学、編入学)

第6条 学部に欠員のある場合は、学則第47条第1項の各号のいずれかに該当する者について試験を行い、教授会の議を経て入学を許可することがある。

(転学部)

第7条 学部学生で転学部を志願する者があるときは、教授会の議を経てこれを許可することがある。

(科目等履修生)

第8条 科目等履修生の入学資格は、教授会の議を経て、当該授業科目を履修するに十分な学力があると認めた者とする。

第9条 科目等履修生の在学期間は、履修科目について授業が行われている期間とする。

(研究生)

第10条 医学科の研究生の入学資格は、次の各号のいずれかに該当する者で、教授会の議を経て認めたものとする。

(1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)又は旧大学令(大正7年勅令第388号)による大学において、医学、歯学又は獣医学(6年制の課程に限る。)を修めて卒業した者

(2) 防衛庁設置法(昭和29年法律第164号)による防衛医科大学校を卒業した者

(3) 大学院の修士課程において、理科系又は医学若しくは歯学に準ずる分野を専攻し、これを修了した者

(4) 学士の学位を取得し、大学院の修士課程に準ずる研究機関において、理科系又は医学若しくは歯学に準ずる分野の研究に2年以上従事した者

(5) 外国における前各号と同等以上の学歴及び研究歴を有する者

2 看護学科の研究生の入学資格は、次の各号のいずれかに該当する者で、教授会の議を経て認めたものとする。

(1) 大学の4年以上の課程を修了した者

(2) 前号と同等以上の学力があると認めた者

第11条 研究生の在学期間は、1年以内とし、年度を超えることができない。ただし、研究遂行上必要と認める場合は、延長することができる。

第12条 研究生として入学を志願する者は、入学願書に履歴書、卒業証明書、健康診断書及びその他必要と認める書類を添えて、指導大学教員、学部長を経て学長に願い出なければならない。

(雑則)

第13条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、教授会の議を経て学部長が定める。

#### 附 則

1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

2 平成15年度以前の入学者は、第2条の規定については、なお従前の例による。

#### 附 則(平成17年2月1日規程)

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

2 平成16年度以前の入学者については、改正後の規程別表第1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則(平成18年3月13日規程)

1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。

2 平成17年度以前の入学者については、改正後の規程別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則(平成20年3月31日規程)

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成21年3月30日 規程)

- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成20年度以前の入学者については、改正後の規程別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成21年7月8日 規程)

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成21年度以前の入学者については、改正後の規程別表第1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成22年3月19日 規程)

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成21年度以前の入学者については、改正後の規程別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成23年1月19日 規程)

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成20年度以前の入学者については、改正後の規程別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成23年3月9日 規程)

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成22年度以前の入学者については、改正後の規程別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成24年3月14日 規程)

- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成23年度以前の入学者については、改正後の規程別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成25年3月29日 規程)

- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成24年度以前の入学者については、改正後の規程別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成25年7月30日 規程)

- 1 この規程は、平成25年7月30日から施行する。
- 2 平成24年度以前の入学者については、改正後の規程別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、改正後の別表第2の「臨床実習」の単位数については、平成21年度入学者から適用する。

附 則(平成25年12月24日 規程)

- 1 この規程は、平成25年12月24日から施行する。
- 2 平成24年度以前の入学者については、改正後の規程別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、改正後の別表第2の「臨床実習」の配当年次については、平成22年度入学者から適用する。

附 則(平成26年3月27日 規程)

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。

2 平成24年度以前の入学者については、改正後の規程別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、改正後の規定別表第2の「救急災害医学」の配当年次及び単位数については、平成24年度入学者から適用する。

- 附 則(平成26年12月10日規程)
- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。
  - 2 平成26年度以前の入学者については、改正後の規程第2条、別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、改正後の別表第2のうち「早期海外医学体験実習」は平成23年度入学者から適用し、「新医学専攻コース」は平成22年度入学者から適用する。

附 則(平成27年4月1日規程)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

- 附 則(平成28年3月9日規程)
- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
  - 2 平成25年度以前の入学者については、改正後の規程別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

- 附 則(平成28年9月27日規程)
- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
  - 2 平成28年度以前の入学者については、改正後の規程別表第1及び第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

- 附 則(平成28年12月14日規程)
- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
  - 2 平成28年度以前の入学者については、改正後の規程別表第1及び第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、改正後の別表第2のうち「いたみのチーム医療・集中コース」は平成28年度入学生から適用する。

- 附 則(平成29年9月20日規程)
- 1 この規程は、平成29年10月1日から施行する。
  - 2 平成28年度以前の入学者については、改正後の規程別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第1(第2条関係)

教養教育科目に関する履修方法

医学科

分類	領域	必修		選択
教養基盤科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー	2単位	教養基盤科目及び教養統合科目から2単位以上
		教養ワークショップ	2単位	
	外国語教育	英語 I TOE I C 英語 I 大学基礎 英語 I コミュニケーション	2単位 2単位 2単位	
	異文化理解	異文化理解 I 基礎 a 異文化理解 I 基礎 b 異文化理解 I 演習 a 異文化理解 I 演習 b (4単位すべて同一の言語を履修)	1単位 1単位 1単位 1単位	

	健康科学	スポーツ健康科学 a スポーツ健康科学 b	1単位 1単位
	基礎教育	情報科学基礎 基礎化学C 分子生命体科学A 分子生命体科学B	2単位 2単位 2単位 2単位
教養統合科目	地域理解・日本理解	地域理解・日本理解領域 の科目群から 医学医療入門2単位 を含め	4単位
	国際理解・現代社会理解	国際理解・現代社会理解 領域の科目群から	4単位
	現代科学理解	現代科学理解領域の科目 群から 国際保健と地域医療2単位 を含め	4単位
		地域理解・日本理解領域 及び国際理解・現代社会 理解領域の科目群から	2単位 (選択必修)
履修単位の小計		38単位	2単位以上
履修単位数の合計		40単位以上	

看護学科

分類	領域	必修	選択
教養基盤科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー 教養ワークショップ	2単位 2単位
	外国語教育	英語 I TOEIC 英語 I 大学基礎 英語 I コミュニケーション	2単位 2単位 2単位
	異文化理解	異文化理解 I 基礎 a 異文化理解 I 基礎 b 異文化理解 I 演習 a 異文化理解 I 演習 b (4単位すべて同一の言語を履修)	1単位 1単位 1単位 1単位
	健康科学	スポーツ健康科学 a スポーツ健康科学 b	1単位 1単位
	基礎教育	情報科学基礎	2単位
教養統合科目	地域理解・日本理解	地域理解・日本理解領域 の科目群から 医学医療入門 2 単位 を含め	4 単位
	国際理解・現代社会理解	国際理解・現代社会理解 領域の科目群から	4単位
	現代科学理解	現代科学理解領域 の科目群から	2単位
		地域理解・日本理解領域 及び国際理解・現代社会 理解領域の科目群から	2単位 (選択必修)
履修単位数の小計		30単位	
履修単位数の合計		30単位以上	

別表第2(第2条関係)

専門教育科目に関する授業科目及び単位数

医学科

授業科目の名称		配当 年次	単位数		備考
			必修	選択	
医療と社会		1	4		
地域基盤型保健医療教育実習		1～2	4		
医学英語		1～2	4		
分子生命体科学		1	2		
初期医学体験実習		1	1		
早期海外医学体験実習		1～5		1	
新医学専攻コース		1～6		1	
いたみの科学		1		2	
いたみのチーム医療・集中コース		2		1	
生体の構造と機能		2～3	18		
生体防御の分子基盤		2	8		
社会と医学		2～3	3		
研究室研修		3～4	7		
チュートリアル教育		3～4	15		
臨床技能教育		4	1		
社会医学		3～6	2		
内科学・神経内科学・薬剤学		3～6	13		
家庭医療学		3～6	1		
精神神経科学		3～6	1		
外科学・胸部外科学		3～6	4		
整形外科学		3～6	1		
産科婦人科学		3～6	2		
小児科学		3～6	3		
皮膚科学		3～6	1		
泌尿器科学		3～6	1		
眼科学		3～6	1		
耳鼻咽喉科学		3～6	1		
放射線医学		3～6	1		
口腔外科学		3～6	1		
麻酔学		3～6	1		
脳神経外科学		3～6	1		
検査医学		3～6	1		
救急災害医学		3～6	1		
臨床実習		4～6	60		

看護学科

授業科目の名称		配当 年次	単位数		備考
			必修	選択	
基礎看護学	人体構造学	1	2		履修方法 必修科目 97単位 選択科目 1単位以上 合計98単位以上を 修得する
	人体機能学	1	2		
	生化学・栄養学	1	2		
	食生活論	1		1	
	看護病態学Ⅰ	1	2		
	看護病態学Ⅱ	2	2		
	看護病態学Ⅲ	2	2		
	ストレスと健康	1	2		

	医療倫理Ⅰ	1	1	
	医療倫理Ⅱ	4	1	
	関係法規	1	1	
	生涯発達論	1	1	
	基礎看護論	1	2	
	看護技術論Ⅰ	1	2	
	看護技術論Ⅱ	2	2	
	看護技術論Ⅲ	2	2	
	看護理論と看護過程	2	2	
	看護システム論Ⅰ	4	2	
	看護システム論Ⅱ	4		1
	基礎看護学実習Ⅰ	1	1	
	基礎看護学実習Ⅱ	2	2	
成人・精神看護学	成人看護学Ⅰ	2	2	
	成人看護学Ⅱ	2	2	
	成人看護学Ⅲ	3	2	
	クリティカルケア看護	4		2
	成人看護学実習Ⅰ	3	2	
	成人看護学実習Ⅱ	3	4	
	精神看護学Ⅰ	2	2	
	精神看護学Ⅱ	3	1	
	精神保健看護論	2	1	
	精神看護学実習	3	2	
母性・小児看護学	小児看護学Ⅰ	2	2	
	小児看護学Ⅱ	2	1	
	小児看護学Ⅲ	3	1	
	小児看護学実習	3	2	
	母性看護学Ⅰ	2	2	
	母性看護学Ⅱ	2	1	
	母性看護学実習	3	2	
	助産論Ⅰ	3		2
	助産論Ⅱ	4		3
	助産診断学Ⅰ	3		3
	助産診断学Ⅱ	3		3
	助産技術学Ⅰ	4		2
	助産技術学Ⅱ	4		2
	助産学実習Ⅰ	4		1
	助産学実習Ⅱ	4		2
	助産学実習Ⅲ	4		4
地域・老年看護学	公衆衛生看護学Ⅰ	2	3	
	公衆衛生看護学Ⅱ	3	4	
	保健医療福祉行政論	3	2	
	保健情報統計学	2	2	
	地域保健・疫学	3	2	
	国際看護学	4		1
	災害看護学	2	1	
	産業保健	4		1

	学校保健	4		1	
	地域診断学実習	4		1	
	公衆衛生看護学実習	4		4	
	老年看護学Ⅰ	2	2		
	老年看護学Ⅱ	3	1		
	認知症と看護	3	1		
	老年看護学実習Ⅰ	3	2		
	老年看護学実習Ⅱ	3	2		
	いたみのチーム医療・集中コース	2		1	
	在宅看護論Ⅰ	3	2		
	在宅看護論Ⅱ	4	1		
	統合実習Ⅰ	4	2		
	統合実習Ⅱ	4	2		
	看護学基礎ゼミナール	3	1		
	看護学専門ゼミナール	4	1		
	看護研究方法論	3	1		
	看護研究(卒論)	4	3		